

あすなろ療育福祉センターの現状について

令和6年7月31日

青森県健康医療福祉部
障がい福祉課

1. あすなろ療育福祉センターの沿革

年 月	内 容
昭和36年 3月	肢体不自由児施設・病院（定員100床）のあすなろ学園として開設
昭和59年 6月	学園全面改築工事着工（昭和61年3月 新園舎全面改築工事竣工）
平成14年 4月	重症心身障害児施設（定員50床設置）及び肢体不自由児施設（定員50床に変更）
平成18年 4月	青森県立あすなろ医療療育センターに名称変更
平成22年1月 ～ 平成23年1月	青森県地域医療再生計画において、専門医の不足や重症心身障害児施設の満床状態解消のため、国立病院機構青森病院に病棟を増設して医療機能及び医師を国立病院機構青森病院に集約し、センターを福祉型施設とする計画を策定したが、センター利用者や関係団体との意見交換を踏まえ、計画を変更し、肢体不自由児病棟（有床診療所）を残した福祉型施設として転換することとなった。
平成24年 4月	医療型児童発達支援センター（多機能型）を開設（定数計10名）
平成26年 4月	有床診療所（19床）併設の福祉型施設に転換し、あすなろ療育福祉センターへ名称変更。福祉型障害児入所施設（定員6名）・障害者支援施設（定員24床）、あすなろ総合相談センターを開設
平成28年10月	障害者支援施設（定員15床）、福祉型短期入所（定員2床）及び生活介護（定員20名）に定員を変更
平成29年 1月	医療型短期入所（定員2床）を開設し、有床診療所（15床）に定員変更

2. 施設の概要

所在地 ・ 土地 ・ 建物	①所在地 青森市大字石江字江渡 1 0 1 ②土地 26,471.72㎡ ③建物 ・本庁舎 5,453.75㎡ ← 鉄筋コンクリート造平屋建（一部地階・2階） ・車庫 86.40㎡ ④駐車場 利用可能台数40台
---------------------------	--

職員	<pre> graph TD Director["所長 (一般事務) 1名"] DeputyLife["生活支援部長 (所長兼務)"] DeputyMedical["診療部長 (所長兼務)"] Director --- DeputyLife Director --- DeputyMedical DeputyLife --- General["総務課長 (一般事務) 1名"] DeputyLife --- LifeSupport["生活支援課長 (看護師) 1名"] DeputyMedical --- Medical["医療科長 (医師) 1名"] DeputyMedical --- Nursing["看護科長 (看護師) 1名"] General --- GenStaff["一般事務員 4名 管理栄養士 1名 調理師 5名 運転職員 1名 計 12名"] LifeSupport --- LifeStaff["看護師 13名 准看護師 1名 保育士 1名 児童指導員 2名 生活支援員 5名 相談支援専門員 3名 計 26名 非常勤生活支援員欠員 1名 (求人中)を除いた人数"] Medical --- MedStaff["医師 1名 薬剤師 1名 看護師 1名 診療放射線技師 1名 理学療法士 6名 作業療法士 4名 言語聴覚士 1名 歯科衛生士 1名 保育士 4名 計 21名"] Nursing --- NurStaff["看護師 15名 准看護師 1名 計 17名"] MedStaff --- Note["他に業務委託の歯科衛生士 2名あり 非常勤保育士欠員 2名 (求人中)を除いた数"] </pre>
	(※) 計77名 このほか、嘱託医1名（非常勤特別職）、小児科医1名（県立中央病院との併任）、歯科医師8名（県歯科医師会ほか）が非常勤医師として勤務。

3. 施設・設備の状況

(1) 施設の状況

老朽化

昭和59年に全面新築工事を行ってから、まもなく40年が経過している。

不便な場所の存在

- ・車椅子スロープが1つしかない
- ・トイレが狭く、おむつ交換がしづらい。
- ・遠方から来ている利用者の待機場所が十分ではない。
- ・自動ドアがタッチ式ではなく、児童が飛び出す危険性がある。
- ・玄関の屋根が短く、雨天時の車両からの乗降時に濡れてしまう。



(2) 設備の状況

老朽化

整備計画により整備が進められてきたが、限られた予算の中で、計画どおりの整備ができず、医療機器の法定耐用年数は、ほとんどが10年未満であるところ、設備の多くが耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。



【無影灯】



【蒸気滅菌装置】

4. サービス内容と利用状況

サービスの種類		サービスの内容	定員
診療部門	外来診療児童（者）	整形外科・リハビリテーション科	—
		小児科	—
		歯科	—
	入院児童（者）		15
	短期入所（医療型）	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護及び治療等を行う。	2
障がい者支援部門	施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	15
	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">「施設入所者の利用15名及び外部からの通所者5名を合わせ20名」</div>	20
	短期入所（福祉型）	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	6
障がい児支援部門	福祉型障害児入所施設	施設に入所している障がい児に対して、保護、日常生活の指導及び知識技能の付与を行う。	6
	医療型児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援及び治療を行う。	10
	放課後児童デイサービス	授業の終了後又は休校日に、児童発達支援センター等の施設に通わせ、生活能力向上のための必要な訓練、社会との交流促進などの支援を行う。	
	日中一時支援	保護者の一時的な休息を目的として、障がいのある方の日中・一時的な活動の場の提供を行う。 <u>（R4末で終了）</u>	2

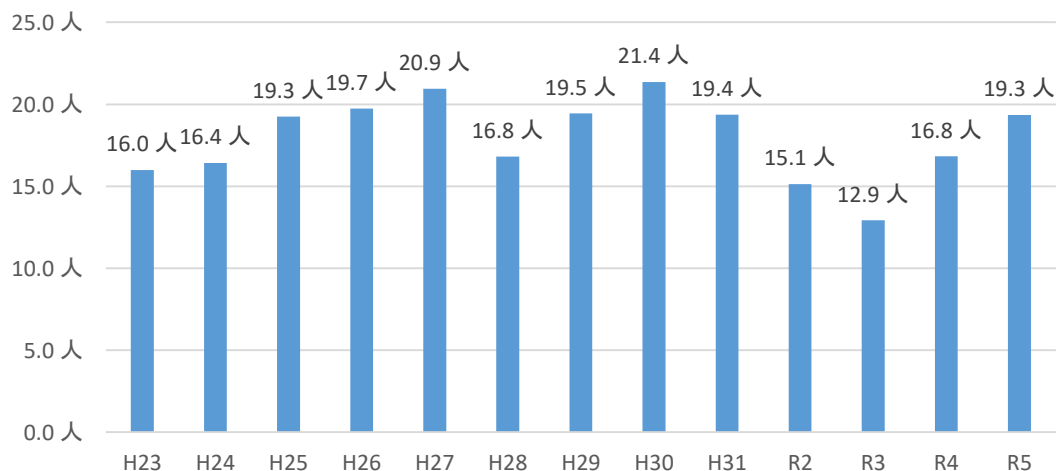
5. 診療科の状況

整形外科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外来診療は週5日（月～金曜日）で、小児整形外科診療（側弯・乳児股関節等）、リハビリテーション診療、装具診、車椅子診断等を行っている。火曜日の午後には県病NICUからの受入児を診療している。 ■ 令和5年度における、あすなろ療育福祉センターでの手術は13件。 （あすなろ療育福祉センターでは対応できない事例として、他院へ依頼した手術は17件。） ■ 1枠あたり1名30分、外来医師の人数により30分あたり2～3枠の予約制で診療している。予約枠はほぼ埋まっている状況である。
リハビリテーション科	<ul style="list-style-type: none"> ■ リハ対象者は9割が外来。0～6歳までの未就学児が最も多い。 ■ 実施頻度（回数）が多いのは、幼児期から学童期までで週1～2回の受診。成人の割合は微減。 ■ 身体障がいが軽度でも知的障がい、ADHD、ASDの傾向をもつ児が増加している。 ■ 居住地域は青森市が6～7割。 ■ 障がいの重複化により、他院他科（多くは県病）受診を必要とする児童が増加する一方、核家族・共働きの家族も増えており、通院のための家族の休暇に限りがある中で、必要なリハビリ頻度が確保できないケースが増えている。
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小児科は週3日（火・木・金曜日）で、火曜日の午後には県病NICUからの受入児を診療している。 ■ 30分1名の予約制で診療しており、予約枠のほとんどは埋まっている状況。 ■ 金曜日は、県内保育園や児童発達支援の現場、学校に出向くため、診療の予約を制限している。 ■ 月1回（第三火曜日）、嚥下造影検査を行っており、その時間は診療の予約を入れていない。 ■ 月2回、1回につき2名ずつ摂食嚥下相談外来を行っており、1名につき約1時間、患児の食事状況をみながら診療している。
歯科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科は週2日（火・水曜日。月2回全身麻酔） ■ あすなろ療育福祉センター診療部歯科への直接の予約申込みはできない。県歯科医師会内にある障がい児者歯科支援ネットワーク運営室に連絡し、運営室コーディネーターが見者の状況により支援協力医及び病院歯科、あすなろ療育福祉センターへ繋ぎ、治療する流れとなっている。 ■ 最近の傾向として、支援協力医や病院での受診が難しいと判断され、運営室コーディネーターからあすなろ療育福祉センターへ繋ぐケースが増えており、週2回の一般診療、月2回の全身麻酔では対応が困難になってきている。 ■ 30分1名の予約制で診療しており、予約枠のほとんどは埋まっている状況

6. 診療部門の利用人数

①整形外科（新患＋再来）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均（新患＋再来）	16.0人	16.4人	19.3人	19.7人	20.9人	16.8人	19.5人	21.4人	19.4人	15.1人	12.9人	16.8人	19.3人
延べ人数（新患＋再来）	3,900人	4,023人	4,699人	4,814人	5,090人	4,051人	4,746人	5,210人	4,649人	3,679人	3,114人	4,055人	4,681人
延べ人数（新患）	362人	404人	489人	425人	507人	307人	264人	300人	327人	427人	432人	415人	394人
延べ人数（再来）	3,538人	3,619人	4,210人	4,389人	4,583人	3,744人	4,482人	4,910人	4,322人	3,252人	2,682人	3,640人	4,287人
稼働日数	244日	245日	244日	244日	243日	241日	244日	244日	240日	243日	241日	241日	242日



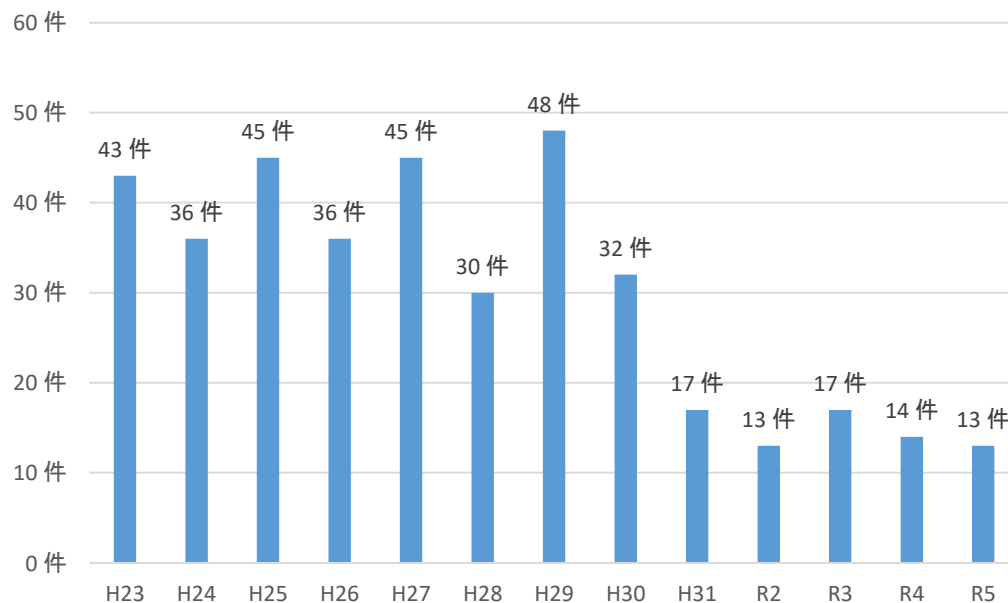
【現状】

- ・新患は概ね横ばいで推移しているが、肢体不自由に医療的ケアや発達障がいを併発している患者が増加している。
- ・再来患者はコロナ禍で減少したが、その後は回復傾向にある。
- ・R5年度の1日平均患者数は概ねコロナ禍以前の水準まで回復した。

6. 診療部門の利用人数

②整形外科（手術）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
延べ人数	43件	36件	45件	36件	45件	30件	48件	32件	17件	13件	17件	14件	13件



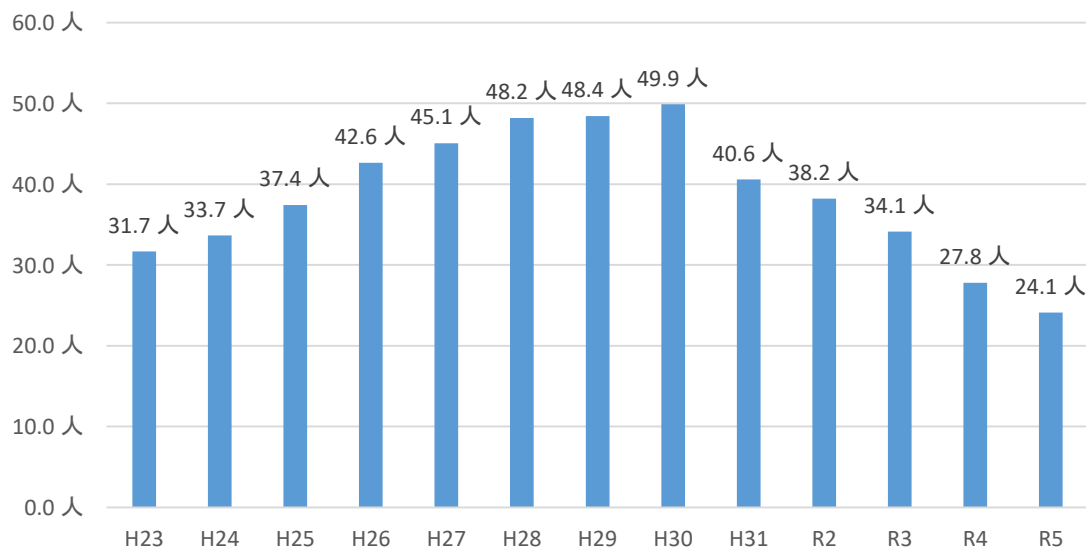
【現状】

- ・手術件数はH30年度を境に減少傾向
- ・R5に手術が必要と判断された患者30件のうち、半数を超える17件は他院（県立中央病院、弘前大学医学部附属病院）での実施が適当とされた。

6. 診療部門の利用人数

③リハビリテーション科（再来）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均（再来）	31.7人	33.7人	37.4人	42.6人	45.1人	48.2人	48.4人	49.9人	40.6人	38.2人	34.1人	27.8人	24.1人
延べ人数（再来）	7,727人	8,247人	9,131人	10,405人	10,953人	11,608人	11,819人	12,171人	9,740人	9,280人	8,220人	6,699人	5,832人
稼働日数	244日	245日	244日	244日	243日	241日	244日	244日	240日	243日	241日	241日	242日



【現状】

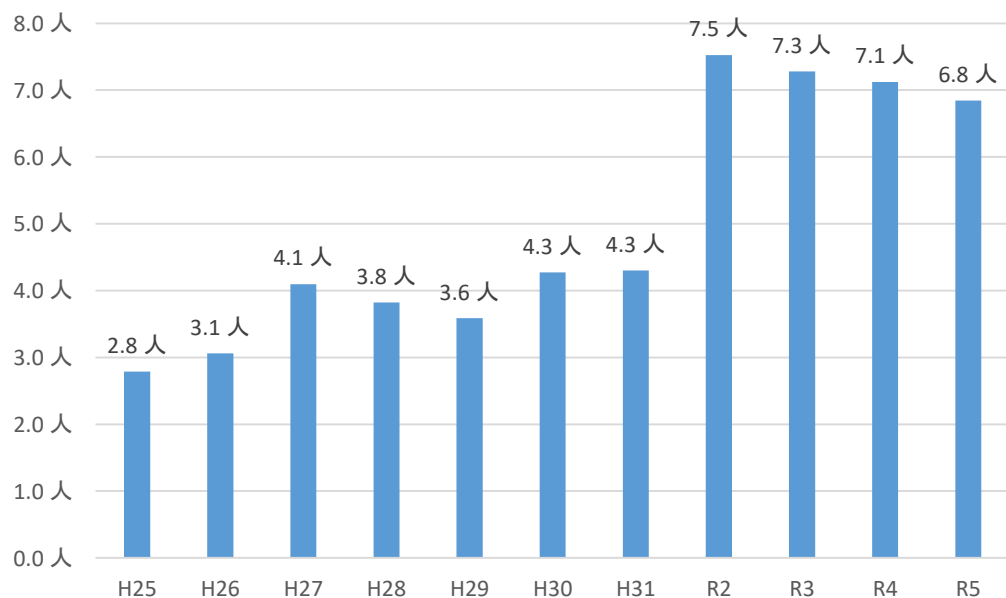
- ・ H30以降、R5まで一貫して減少傾向。

(※)福祉行政報告例（厚労省）によると、青森県における18歳未満の肢体不自由による身体障害者手帳保持者はH23年度では646人だがR3年度では560人に減少している。

6. 診療部門の利用人数

④小児科（新患＋再来）

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均（新患＋再来）	2.8人	3.1人	4.1人	3.8人	3.6人	4.3人	4.3人	7.5人	7.3人	7.1人	6.8人
延べ人数（新患＋再来）	92人	101人	127人	107人	104人	94人	129人	1,121人	990人	883人	883人
稼働日数	33日	33日	31日	28日	29日	22日	30日	149日	136日	124日	129日



【現状】

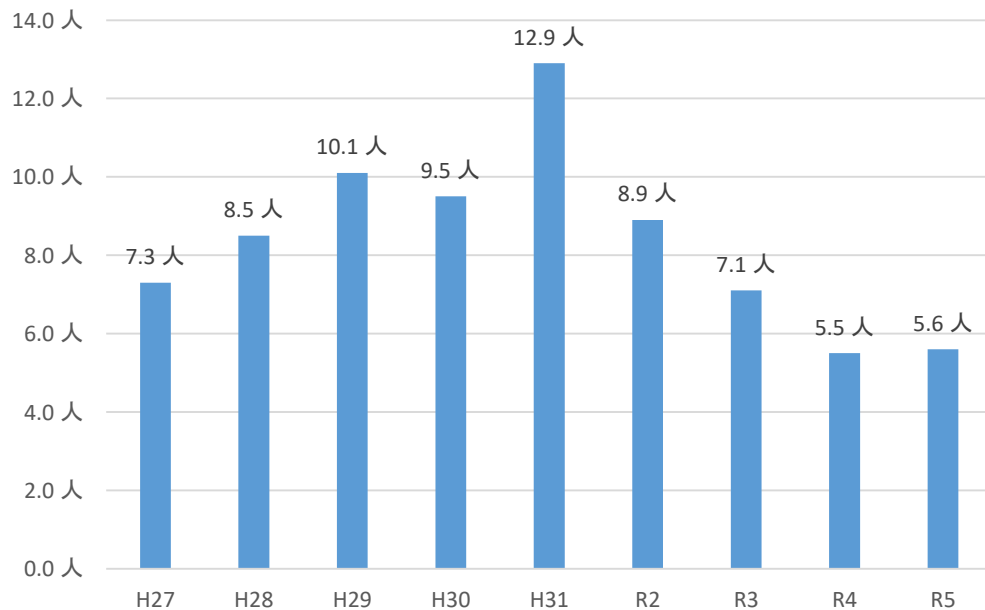
・H31年度までは、小児科外来の稼働日数は年30日であったが、令和2年からは、青森県立中央病院成育科医師が週3日（そのうち1日は午後のみ）診療している。R2年度は稼働日数が年149日に増加している。

・患者数はR2からR5まで減少傾向。

6. 診療部門の利用人数

⑤入院

区分	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	7.3人	8.5人	10.1人	9.5人	12.9人	8.9人	7.1人	5.5人	5.6人
延べ人数	2,672人	3,106人	3,697人	3,464人	4,710人	3,235人	2,593人	1,991人	2,046人
病床数	19床	19床	15床	15床	15床	15床	15床	15床	15床



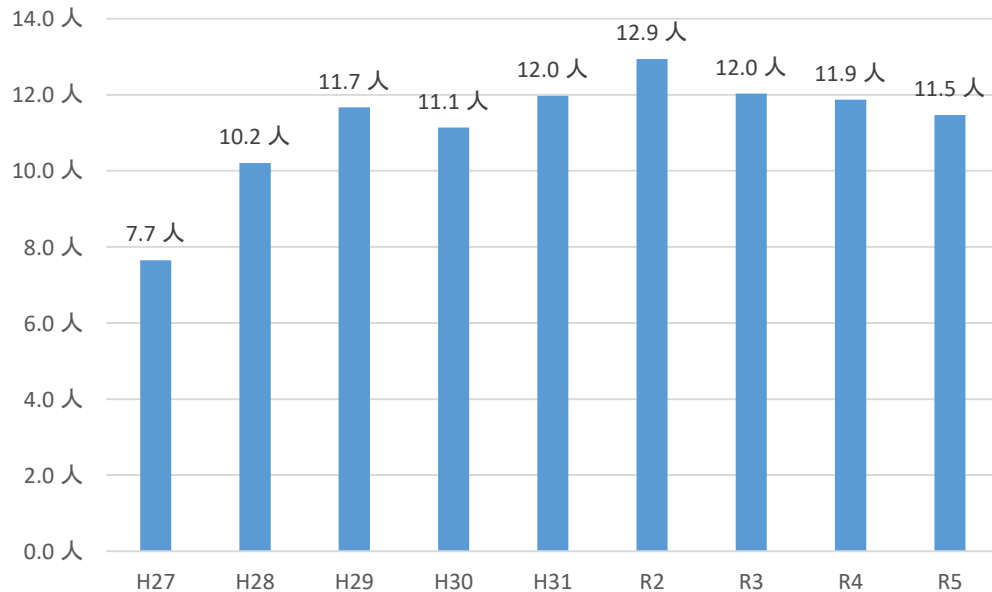
【現状】

- ・肢体不自由児の減少及び在宅傾向のほか、コロナ禍もあり減少傾向である。
- ・R5の6月では1日平均人数が10.2人まで回復したものの、年間ではR4並みとなった。

6. 診療部門の利用人数

⑥歯科（新患＋再来）

区分	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均（新患＋再来）	7.7人	10.2人	11.7人	11.1人	12.0人	12.9人	12.0人	11.9人	11.5人
延べ人数（新患＋再来）	658人	1,010人	1,167人	1,114人	1,185人	1,255人	1,179人	1,175人	1,147人



【現状】

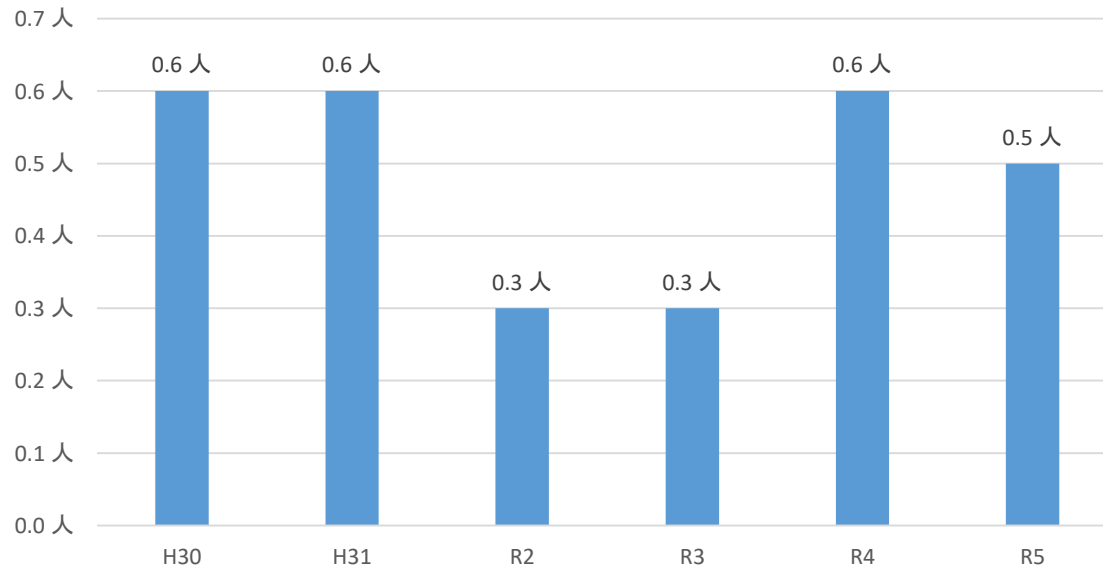
- ・H28以降は概ね横ばいで推移。コロナ禍でも顕著な減少は見られなかった。
- ・全身麻酔治療については、月に1名実施だったが、R6年度からは月に2名に増加したことにより、半年以上かかっていた待機児童の減少を目指している。

6. 診療部門の利用人数

⑦短期入所（医療型、定員：2名）

区分	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.6人	0.6人	0.3人	0.3人	0.6人	0.5人
延べ人数	211人	222人	104人	103人	216人	182人

医療型のみ



【現状】

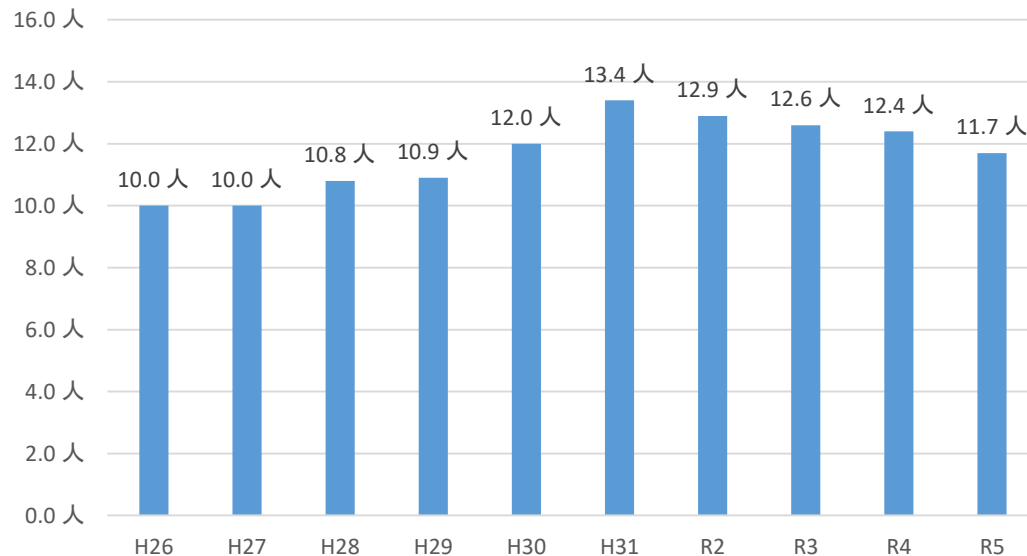
・R2年度以降、コロナ禍で減少傾向だったが、R4年度はH30の水準まで回復した。

・R5はやや減少した。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

①施設入所支援（定員：15名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	10.0人	10.0人	10.8人	10.9人	12.0人	13.4人	12.9人	12.6人	12.4人	11.7人
延べ人数	3,638人	3,660人	3,924人	3,984人	4,380人	4,895人	4,721人	4,596人	4,539人	4,279人



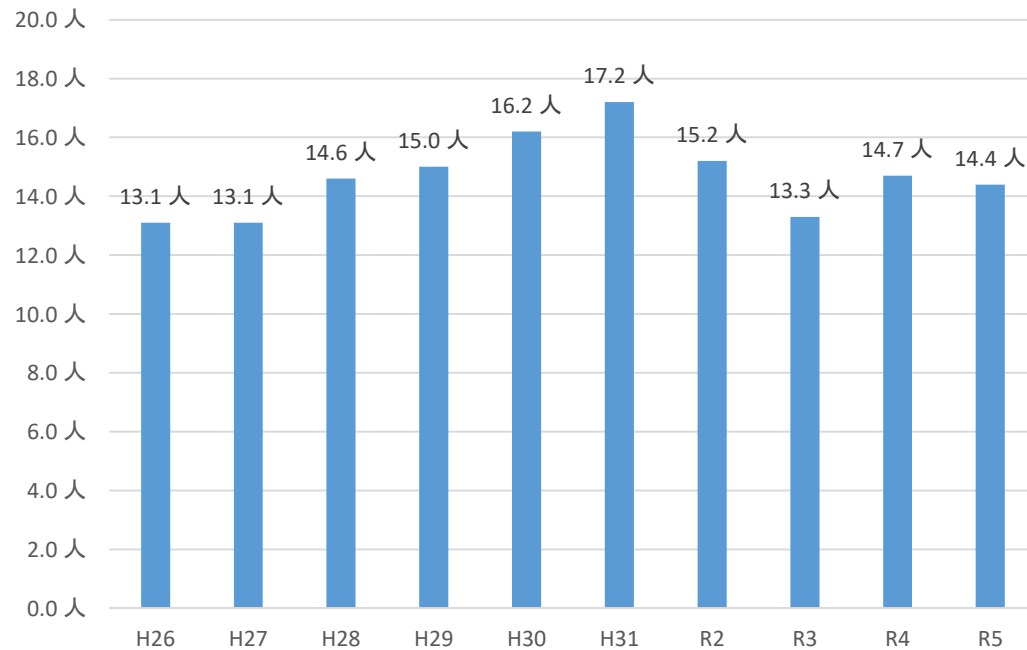
【現状】

- ・ H31までは増加傾向だが、近年は漸減となっている。
- ・ R5も減少傾向は継続している。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

②生活介護（定員：20名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	13.1人	13.1人	14.6人	15.0人	16.2人	17.2人	15.2人	13.3人	14.7人	14.4人
延べ人数	3,206人	3,183人	3,529人	3,661人	3,943人	4,127人	3,684人	3,223人	3,566人	3,509人



【現状】

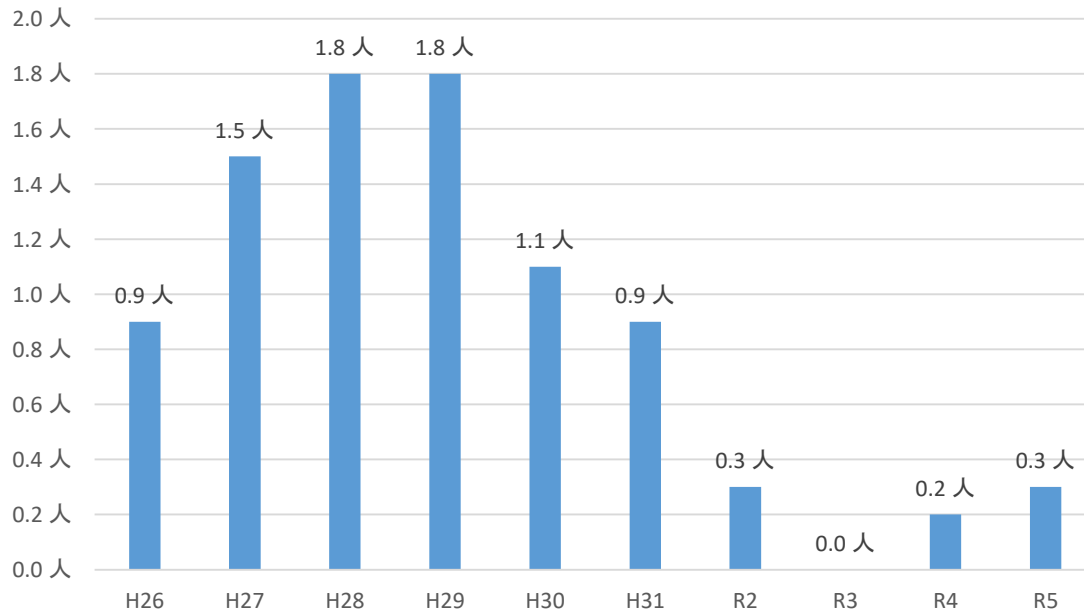
・入所者と比例してH31までは増加。その後は減少傾向だが、R4は増加となった。

・R5もほぼ横ばいとなっている。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

③短期入所（福祉型、定員：6名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.9人	1.5人	1.8人	1.8人	1.1人	0.9人	0.3人	0.0人	0.2人	0.3人
延べ人数	331人	547人	663人	644人	400人	339人	119人	14人	88人	118人



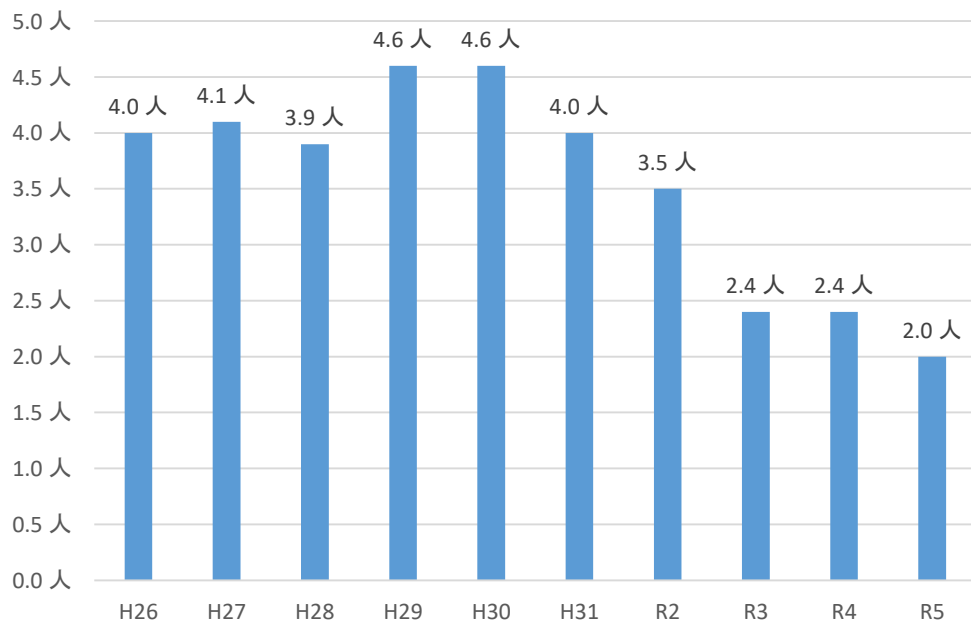
【現状】

- ・コロナ禍で利用が減少しており、令和4年度はやや回復したものの、令和元年度の1/3以下である。
- ・R5は微増に転じている。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

①福祉型障害児入所施設（定員：6名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	4.0人	4.1人	3.9人	4.6人	4.6人	4.0人	3.5人	2.4人	2.4人	2.0人
延べ人数	1,460人	1,495人	1,428人	1,671人	1,672人	1,457人	1,276人	870人	894人	729人



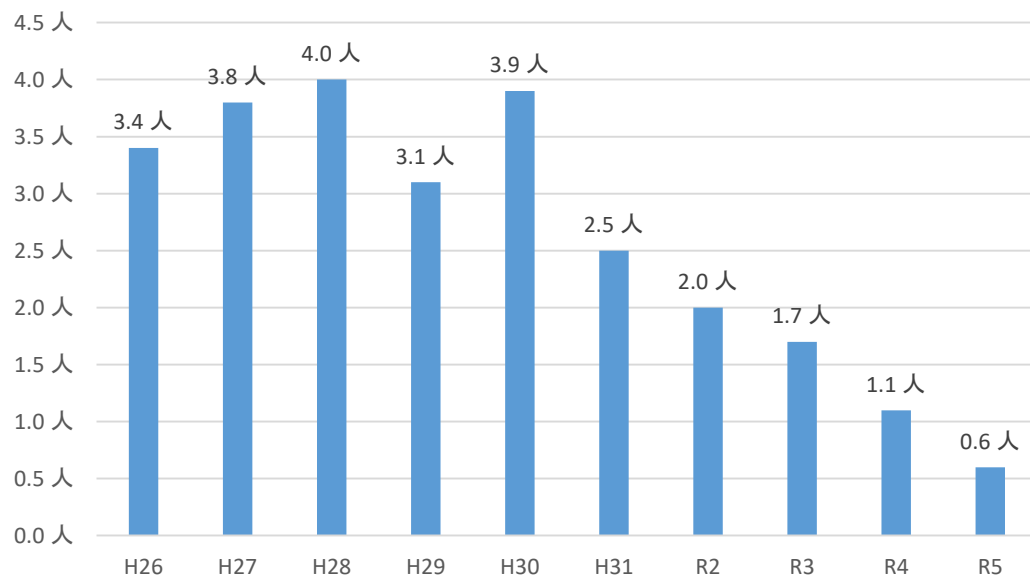
【現状】

- ・ H30をピークに近年は減少している。
- ・ R5も継続して減少となった。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

②医療型児童発達支援（定員：③と併せて10名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	3.4人	3.8人	4.0人	3.1人	3.9人	2.5人	2.0人	1.7人	1.1人	0.6人
延べ人数	832人	914人	955人	751人	961人	604人	487人	405人	274人	145人



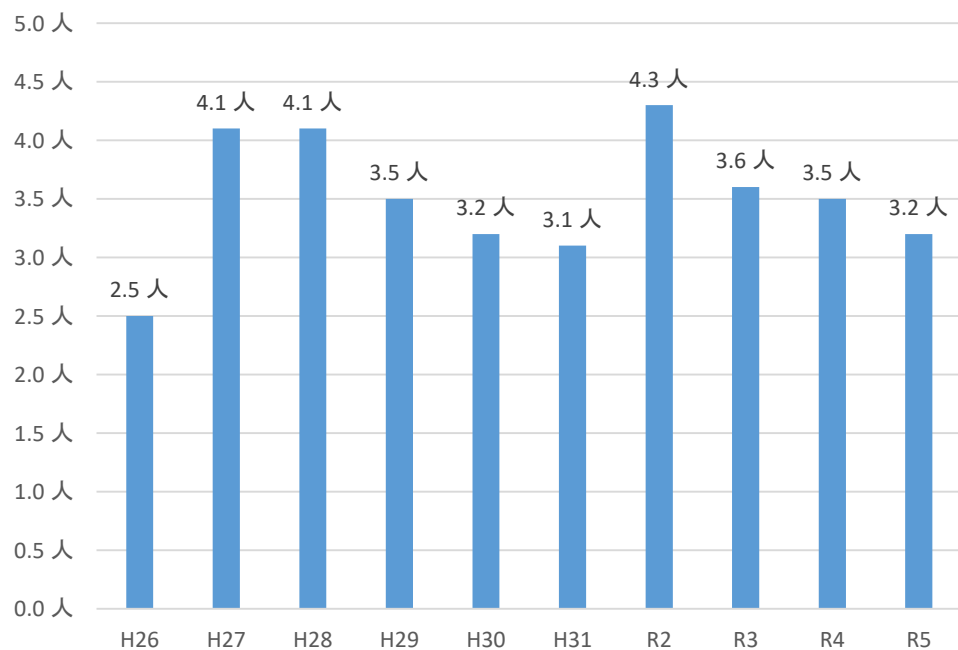
【現状】

- ・ H30以降はコロナ禍の影響もあり、減少している。
- ・ R5はさらに前年度の5割程度まで減少となった。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

③放課後児童デイサービス（定員：②と併せて10名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	2.5人	4.1人	4.1人	3.5人	3.2人	3.1人	4.3人	3.6人	3.5人	3.2人
延べ人数	608人	1006人	983人	851人	778人	735人	1042人	867人	832人	775人



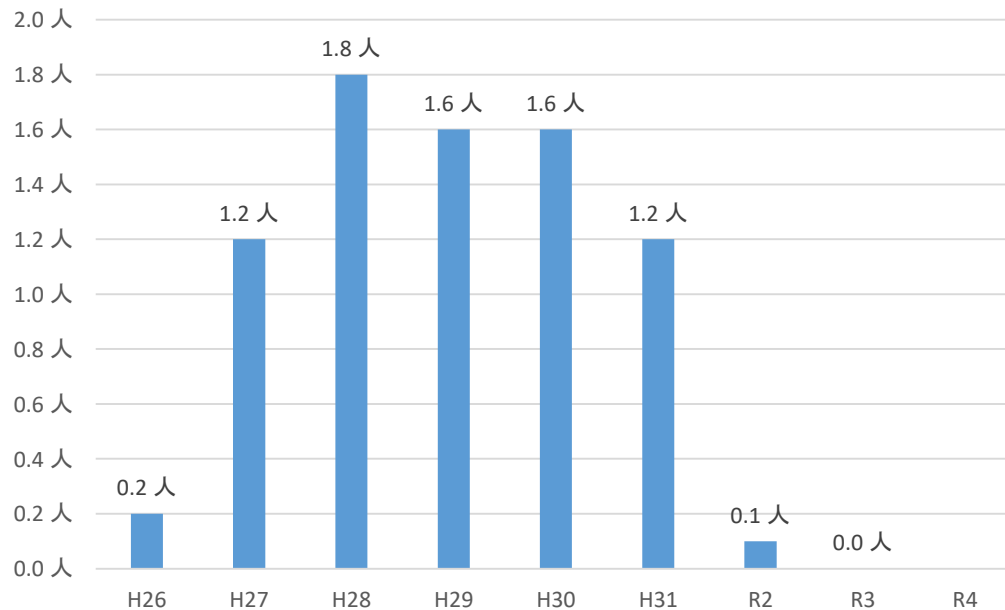
【現状】

- ・ H31からR2にかけて増加したが、その後は緩やかに減少している。
- ・ R5もやや減少となった。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

④日中一時支援（定員：2名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
1日平均	0.2人	1.2人	1.8人	1.6人	1.6人	1.2人	0.1人	0.0人	
延べ人数	46人	300人	442人	383人	390人	297人	29人	1人	



【現状】

・利用者は減少傾向だったが、あすなろセンターの実施体制（人員不足）により、R4年度以降は青森市との契約を解消。

9. 経営状況

これまでの主な対策	現 状（令和元年度～令和5年度）																									
<p>【歳入】 ①医療機関との連携及び積極的なPRによる利用者の確保</p>	<p>○これまでの収入実績を踏まえ、施設入所支援(者)、福祉型障害児入所施設など、各種障がい福祉サービス等の利用者数について、実現可能性が高い目標値を設定し、取り組みを行ったものの、新型コロナウイルス感染症により計画通りの利用者確保に至らなかった。同感染症が5類に移行した令和5年度においてもコロナ禍前の水準には回復していない。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>340,132 千円</td> <td>293,522 千円</td> <td>86.30%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>346,772 千円</td> <td>278,349 千円</td> <td>80.27%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>361,525 千円</td> <td>259,800 千円</td> <td>71.86%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>383,860 千円</td> <td>230,802 千円</td> <td>60.13%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>383,860 千円</td> <td>235,804 千円</td> <td>61.43%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	340,132 千円	293,522 千円	86.30%	R 2	346,772 千円	278,349 千円	80.27%	R 3	361,525 千円	259,800 千円	71.86%	R 4	383,860 千円	230,802 千円	60.13%	R 5	383,860 千円	235,804 千円	61.43%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																							
R 1	340,132 千円	293,522 千円	86.30%																							
R 2	346,772 千円	278,349 千円	80.27%																							
R 3	361,525 千円	259,800 千円	71.86%																							
R 4	383,860 千円	230,802 千円	60.13%																							
R 5	383,860 千円	235,804 千円	61.43%																							
<p>【歳出】 ①職員勤務体制の見直し（夜勤体制を3交代制から2交代制に見直し） ②人員配置の見直し（非常勤職員の削減） ③管理費の節減等</p>	<p>○管理費について、毎年対前年比3%マイナスのシーリングを設定している。 ○各障がい福祉サービス部門ごとの必要人数を精査し、現在提供しているサービス機能を維持することを前提として、人員配置を削減したこと等により、令和4年度には計画目標を下回った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>660,507 千円</td> <td>650,036 千円</td> <td>98.41%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>658,245 千円</td> <td>660,234 千円</td> <td>100.30%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>655,265 千円</td> <td>659,926 千円</td> <td>100.71%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>700,433 千円</td> <td>673,339 千円</td> <td>96.13%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>703,169 千円</td> <td>677,133 千円</td> <td>96.30%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	660,507 千円	650,036 千円	98.41%	R 2	658,245 千円	660,234 千円	100.30%	R 3	655,265 千円	659,926 千円	100.71%	R 4	700,433 千円	673,339 千円	96.13%	R 5	703,169 千円	677,133 千円	96.30%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																							
R 1	660,507 千円	650,036 千円	98.41%																							
R 2	658,245 千円	660,234 千円	100.30%																							
R 3	655,265 千円	659,926 千円	100.71%																							
R 4	700,433 千円	673,339 千円	96.13%																							
R 5	703,169 千円	677,133 千円	96.30%																							
<p>【繰入金】</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症等の影響により、歳入について計画目標の達成が困難であったことから、繰入金が増加傾向で推移</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>320,375 千円</td> <td>356,514 千円</td> <td>111.28%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>311,473 千円</td> <td>381,885 千円</td> <td>122.61%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>293,740 千円</td> <td>400,126 千円</td> <td>136.22%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>316,573 千円</td> <td>442,537 千円</td> <td>139.79%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>319,309 千円</td> <td>441,329 千円</td> <td>138.21%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	320,375 千円	356,514 千円	111.28%	R 2	311,473 千円	381,885 千円	122.61%	R 3	293,740 千円	400,126 千円	136.22%	R 4	316,573 千円	442,537 千円	139.79%	R 5	319,309 千円	441,329 千円	138.21%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																							
R 1	320,375 千円	356,514 千円	111.28%																							
R 2	311,473 千円	381,885 千円	122.61%																							
R 3	293,740 千円	400,126 千円	136.22%																							
R 4	316,573 千円	442,537 千円	139.79%																							
R 5	319,309 千円	441,329 千円	138.21%																							